

電動ウインチ 12V

最大牽引能力 1580kg

軽量シンセティックロープ

取扱説明書

【品番】 DC12V-6

この度は、KIKAIYA「電動ウインチ 12V 最大牽引能力 1580kg 軽量シンセティックロープ」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

* 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく安全にご使用ください。

* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(MAIL) info@kikaiya.com

■ 調査及び修理をご依頼の前に

* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

■ 開封時

開封したらすぐに中身を確認してください。

付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身をご確認ください

■ 仕様

最大牽引能力	永久磁石	減速比	ロープ	ドラムサイズ	本体重量
1580kg	0.8Kw／1.1Hp 12V	128.2:1	φ6mm×13m	φ45mm×81mm	10kg

【能力表】

牽引力	巻き取りスピード(m/分)	モーターアンペア
0 kg	6.7	26
227 kg	5.85	35
454 kg	5.3	70
680 kg	4.3	98
907 kg	3.45	107
1134 kg	2.75	129
1361 kg	2.2	138
1580kg	1.75	169

【牽引力】

牽引力	ロープドラム巻き量
1580kg	3.5 m
1278kg	5.1 m
1167 kg	8.0 m
1072 kg	11.2 m
896 kg	13.0 m

※牽引力はドラムに巻いたロープの巻き数により大きく変化します。

※最大牽引はドラムにロープが殆ど無い時のみ発揮されます。

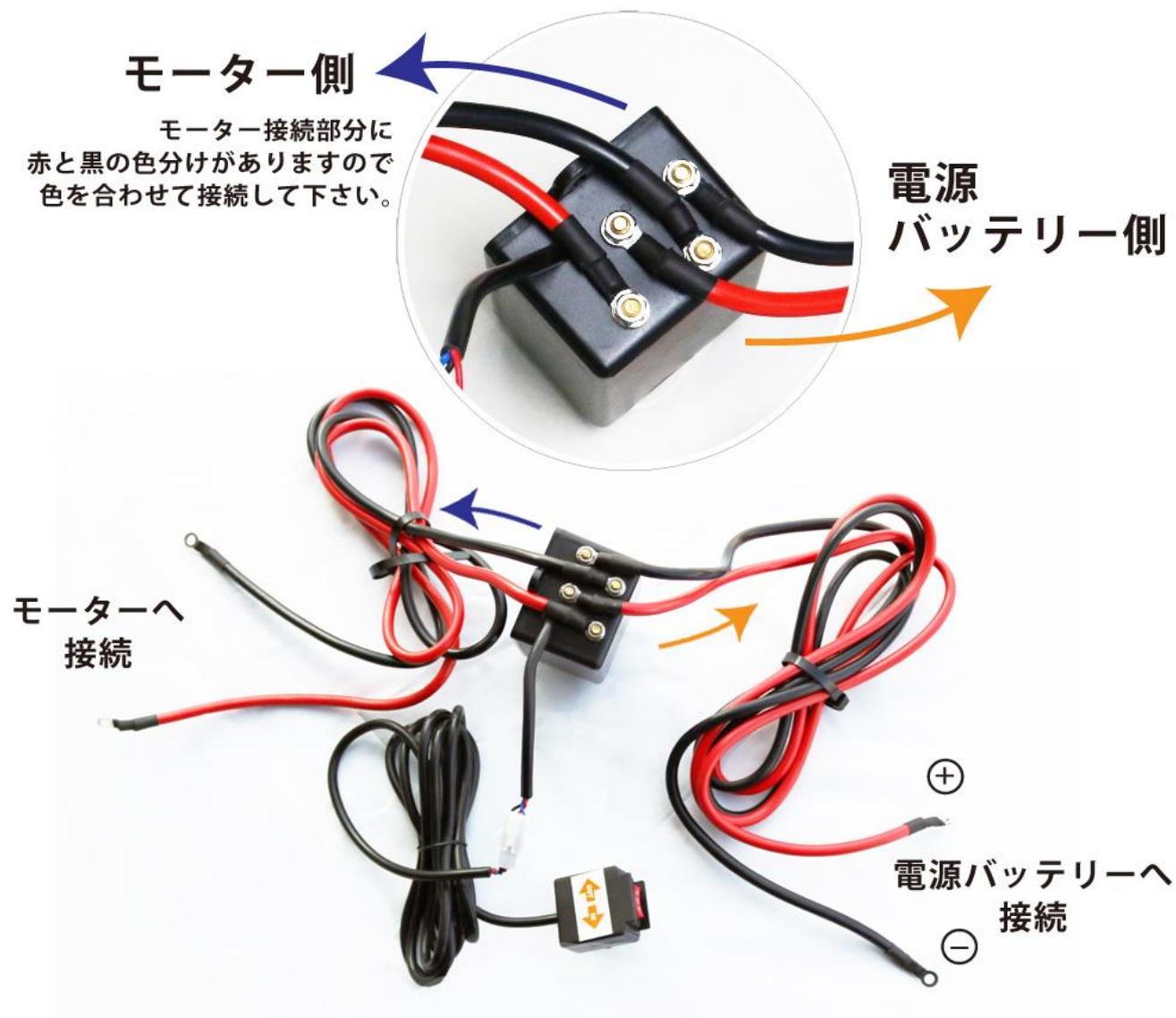
※ロープをドラムに巻き取っていくと牽引能力はダウンします。

■ 注意事項

- このウインチは引く作業専用です。物の吊り上げには使用しないでください。
- 人をのせた状態でウインチを操作して吊り上げたり引いたりしないでください。
- このウインチに能力以上の荷重をかけないでください。それ以上の荷重の場合はオプションのプーリーブロックを使用してダブルラインで作業してください。
- 重い荷重をかけて連続的に長く使用しないで短い時間 15 秒以内で使用してください。平均的に負荷を加えて急激に負荷が加わる様な使い方はしないでください。使用中モーターを手で触って熱くなっている場合は使用を中止してモーターを冷ましてください。
- ドラムにロープが 5 巻き(5 回転)以上ある状態を確認してから使用してください。ロープがドラムに少ない状態では使用しないでください。
- ロープを巻き取るときは直角に巻き取ってください。斜めに巻き取るとロープや本体にダメージを与えます。
- 入力電圧は DC12V を下回らないようにしてください。
- ウインチのロープを対象物に巻きつけ、フックをそのロープに引っかけての使用は行わないでください。ロープを傷付ける原因になります。スリングなどを使って作業してください。
- ウインチに負荷をかけて巻いている最中にもしも動きが遅くなった場合、使用を中止してすべての配線やその接続箇所の接触などを点検してください。
- ウインチで作業する時は近寄らないでください。突然フックが外れたりロープが切れたりして思わぬ事故が起こる可能性があります。ウインチで作業中にフックの近くに重い布などをロープに吊り下げると、フックが外れた時など突然フックが跳ねたり飛んでいくのを防ぎます。
- ウインチを操作する時に車を動かしたりしてウインチの巻き取りを補助しないでください。状況次第ではウインチやロープに負荷がかかりすぎて破損の原因になります。
- 車に取り付けたウインチで物を引く時はギアをニュートラルにしてブレーキをかけ全ての車輪には輪止めをかけます。エンジンは必ずアイドルリングにして操作してください。エンジンが OFF の状態でウインチを使用するとバッテリーの電圧が低下してエンジンの始動ができない可能性があります。
- ウインチを使用している最中には絶対にウインチのギアを外してドラムをフリーにしないでください。
- ロープやフックは常に清掃して異常が無いか確認してください。ロープにほつれ・傷・素線切れなどがある場合は危険ですので使用しないでロープを交換してから使用してください。
- 作業終了後ロープをドラムに巻きつける時はロープ又はフックを手で持ちながら、ロープにテンションを与えながらきれいに巻いてください。負荷をかけずにロープをドラムから伸ばす時も手で引っ張りながら伸ばしてください。
- ウインチを操作する時は飲酒・薬物・体調不良の時は作業しないでください。作業する時は木屑やゴミなどが目に入る恐れがありますのでゴーグルなどを着用してください。ロープロープやフックでケガをする可能性がありますので、必ず作業手袋を着用して作業してください。服装も作業に適した衣服を着用してください。
- ウインチを改造したりしないでください。普段からよく点検して異常がないか確認してください。

■配線の接続

※配線の接続は下記の画像を参考にしてください。



- ※ 端子部にはテープやゴムキャップなどで絶縁してボデーアースに接触しない様にしてください。
- ※ ウィンチを使わない時はバッテリーのターミナルからコードを外すかメインスイッチを取り付けて電源を遮断してください。不意にウィンチが動き出す可能性があります。
- ※ ウィンチ作業する時は必ず手袋を着用してください。
ロープドラムに手が巻き込まれない様に十分注意して作業してください。
- ※ ワイヤレスリモコンを操作する時はウィンチの状況がよく確認できる位置で操作してください。
ワイヤレスは動きにタイムラグが生じますのでご注意ください。

■取り付け

1. 自動車やその他の物にウインチの取り付ける時は M12 ボルトナットとワッシャーでしっかりと確実に固定してください。ロープなどでウインチを固定しないでください。
2. ウインチからの電源コード2本をバッテリーの端子に直接接続してください。赤いコード(プラス)黒いコード(マイナス)を確実に接続してコントローラーを本体に接続します。
3. 接続したならば試運転します。コントローラースイッチを操作するとドラムは正転・逆転します。

■使用方法(クラッチ操作)

※クラッチ操作はモーターを回しながら行わないでください。

【ドラムフリー操作】

このウインチは直流 DC12V 専用のモーターを使用して自動車やボートトレーラーなどに取り付けて使います。横のクラッチノブを手で回す(反時計回り)事でドラムがフリーになりモーターを回さなくてもロープを伸ばせる構造になっています。

【クラッチ ON】

ロープを巻き取りする場合はクラッチを ON にします。時計回りにノブをまわしてノブが止まる所までいっぱいに戻してください。ノブは途中で止めないでください。

クラッチを ON にしてモーターを回す前にロープを手で引っ張るとギアが噛み合います。確実に噛み合った事を確認してからモーターを動かしてください。

【注意】

クラッチ操作は確実に行ってください。

半クラッチ状態で使用すると内部のギアが破損する恐れがあります。

■使用方法

1. 本体横のクラッチノブを反時計回りに回すとクラッチが OFF になります。するとドラムはフリーになりロープを手で引き出します。
2. ロープを引き出す時はフックのストラップを手で掴んで引っ張ってください。ロープは最大引き出した状態でロープがドラムに5回転以上巻いている事を確認してください。ロープはドラムの端からキレイに巻いてください。
3. クラッチノブはウインチを動かしている時には操作しないでください。
4. 作業が終了したならばロープとコントロールケーブルをキレイに巻き取ってください。

■メンテナンス

- 日常的にウインチに付いた汚れやほこりを取り除いてください。
- 取り付けボルトや配線接続箇所のネジなどに緩みがないか点検してください。
- ウインチのギアボックスは分解しないでください。
- ギアボックスには工場であらかじめグリスを注入しています。ギアボックスにグリスを注入する必要はありません。

■ロープの交換

1. ロープをドラムから全て取り出したならば、クラッチを ON にします。
2. ロープの端をドラムに差込み固定ネジを締め込み、確実にロープを固定してください。
3. コントローラーを操作しながらロープをキレイに巻き取ってください。

■トラブルシューティング

症状	原因	処置
●モーターが動かない又は一方しか回らない	<ul style="list-style-type: none">➢ スイッチの不良➢ 配線の断線・接触不良➢ モーターの故障	<ul style="list-style-type: none">✓ スイッチを修理する✓ 全ての配線を点検する✓ モーターを修理する
●モーターは回るがドラムは回転しない	<ul style="list-style-type: none">➢ クラッチが繋がっていない	<ul style="list-style-type: none">✓ クラッチを ON にする
●モーターは回るがスピードと力が不足している	<ul style="list-style-type: none">➢ バッテリーが弱い➢ モーターの不良	<ul style="list-style-type: none">✓ バッテリーを交換又は充電する✓ バッテリーの接続端子の締め付けや接触箇所を清掃する✓ モーターを修理する
●モーターが熱くなった	<ul style="list-style-type: none">➢ ウインチの可動時間が長すぎる➢ モーターの不良	<ul style="list-style-type: none">✓ モーターを止めて冷ましてから使う✓ モーターを修理する